

令和7年第3回野洲市議会定例会会議録

招集年月日 令和7年6月17日

招集場所 野洲市役所議場

出席議員

1番	村田 弘行	2番	小菅 康子
3番	山本 剛	4番	木下 伸一
5番	津村 俊二	6番	山崎 敦志
7番	橋 俊明	8番	石川 恵美
9番	服部 嘉雄	10番	奥山文市郎
11番	田中 陽介	12番	東郷 克己
13番	岩井智恵子	14番	鈴木 市朗
15番	山崎 有子	16番	稲垣 誠亮
17番	荒川 泰宏		

欠席議員 なし

地方自治法第121条の規定により説明のため出席を求めた者の職氏名

市長	櫻本 直樹	教育長	北脇 泰久
病院事業管理者	前川 聡	政策調整部長	井狩 昭彦
政策調整部政策監	小池 秀明	総務部長	川尻 康治
市民部長	西村 拓巳	健康福祉部長	井出 徹哉
健康福祉部政策監 (高齢者・子育て支援担当)	北田 一栄	市立野洲病院事務部長 (地域医療政策担当政策監)	駒井 文昭
都市建設部長	布施 篤志	環境経済部長	中塚 誠治
教育部長	田中 明美	政策調整部次長	松井 健作
総務部次長	井狩 勝	総務課長	山本 定亮

出席した事務局職員の氏名

事務局長	辻 昭典	事務局次長	行俊 勉
書記	赤坂 悦男	書記	船橋 潤子

議事日程

諸般の報告

第1 会議録署名議員の指名

第2 一般質問

開議 午前9時00分

議事の経過

(再開)

○議長(山本 剛) (午前9時00分) 皆さん、おはようございます。

ただいまから本日の会議を開きます。

諸般の報告に入る前に、本日、報道関係者が来られており、録画、録音、写真撮影等を許可しますので、申し伝えておきます。

日程に入るに先立ち、諸般の報告を行います。

出席議員は17人全員であります。

次に、本日の議事日程は、既に送付いたしました議事日程のとおりであります。

次に、本日、説明員として出席通知のあった者の職、氏名は、昨日と同様であり、タブレットへの掲載を省略しましたので、ご了承願います。

(日程第1)

○議長(山本 剛) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、第10番、奥山文市郎議員、第11番、田中陽介議員を指名いたします。

(日程第2)

○議長(山本 剛) 日程第2、昨日に引き続き、一般質問を行います。

発言順位は、一般質問一覧表のとおりであります。

順次発言を許します。

なお、質問に当たっては、簡潔明瞭にされるよう希望します。

それでは、通告第14号、第7番、橋俊明議員。

○7番(橋 俊明議員) 皆さん、おはようございます。第7番、新誠会、橋俊明でございます。

今日は残り2名がさせていただきますけども、したがいまして、時間がゆっくりございますので、丁寧にやっていきたいなと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは、1番目、野洲駅南口周辺整備についてを議題といたします。

本年3月開催されました都市基盤整備特別委員会におきまして、連携事業者であるサンヨーホームズより提出されました変更計画に関しまして、議員より意見を述べたところがあります。都市基盤整備委員会では市の整備方針を整理されており、アサヒビールから購入した土地を売却しない、マンションの建設は行わない、Aブロックにパークモールを整備する等の方針を言明されました。

6月5日の都市基盤整備特別委員会におきまして、今回連携事業者であるサンヨーホームズとの協議を折り合うことは不可能と判断され、協議の続行を終了する旨の書面を送付された報告を受けたところであり、今回の市の英断を支援するとともに、反面、一抹の不安も感じます。

そこで1番目でございます。

取り越し苦労かも知れませんが、協定内容の一部不履行等の訴えなどが想定されるが、そのときの対応を伺います。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） 皆様、おはようございます。また、本日もたくさん傍聴をいただきまして、ありがとうございます。市民のためにしっかりと議論をしようと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、橋議員からのご質問、野洲駅南口周辺整備について、1問目が協定内容の一部不履行の訴えがあった場合の対応についてのご質問にお答えしたいと思います。

まず、議員にご心配いただいているような事態にならないよう、信義誠実に協議してきたところでございます。しかし、相手方のあることでございますので、仮定の話にはなりますが、市の顧問弁護士に相談しながら対応していくことになるかと想定をしております。

○議長（山本 剛） 橋議員。

○7番（橋 俊明議員） 先ほど申し上げました。取り越し苦労と話しましたが、その取り越し苦労が当たる可能性もなきにしもあらず。サンヨーホームズからは意見書が出されました。その中にちらっと触れていましたけれども、そのことはあんまりとやかく言いたくはございません。今回の一般質問、南口周辺整備につきましては、6月4日が締切りでございましたけれども、都市基盤と。5日が都市基盤でございましたけれども、修正してもよい、都市基盤の内容によっては修正してもよいという通告を事前に受けておりました。私も実は修正させていただきました。いろいろ考えた末に、今申し上げている形で質問さ

せていただいておりますけども、当初はそうではございませんでした。いわゆる6月のその都市基盤整備委員会の報告を受けて、当初の内容を差し替えました。これは当初は、恐らくAブロックが、やっぱりポイントになってきますので、両方、市の思い、サンヨーホームズの思い、これが重なってきますので、私は選択肢の1つとして、サンヨーホームズがBブロックにマンション、ホテルを整備すると提案してきたら、市はどのような対応をされるのかという質問を予定しておりました。

ただ、都市基盤整備特別委員会の内容を聞いておりますと、それはもう無理だということで、質問を差し替えたところであります。ちょっと差し出がましいのかもわかりませんが、(聴取不能)、もしBブロックは狭いということも考えられますので。狭いですので、マンションやホテルの整備にこれはもう無理が生じてきますので、容積率を上げていただいての、条件が出されたらどうですかというのを想定しておりましたけども、それはもう結構です、修正をいたしましたので。このような内容でございますけども。

サンヨーホームズさんの内容、いろんところで思いがあるんですけども、ただ1つだけ気になったところがございます。何かといいますと、いわゆる市の思いとサンヨーホームズさんの思いに想像以上に温度差があるということが分かってきましたので、この温度差があるということにつきまして、ちょっと再質、交渉をずっと続けておられました小池政策監に、いわゆるこの温度差があることは十分承知されて交渉されておったということではよろしゅうございますか。

○議長(山本 剛) 小池政策監。

○政策調整部政策監(小池秀明) 協議の中で、市の方針が大きく変わったということがございますので、協議が難航するということは認識をしておりましたし、その中で1%でも可能性があればと思い、協議は続けてはおりました。

以上です。

○議長(山本 剛) 橋議員。

○7番(橋 俊明議員) ありがとうございます。

先ほどもおっしゃいました。この温度差が、やっぱりいろんところで、都市基盤の特別委員会でもいろんな方が意見されましたけど、一般質問でも、今回、大分議論になっていきますけども、この温度差を埋めるような方策を考えておられるのかどうか。何が一番大事かということをお聞きします。ずっと交渉を重ねてこられましたけど、企画のほうにもう一遍確認したいと思います。

○議長（山本 剛） 小池政策監。

○政策調整部政策監（小池秀明） 市としましては、交渉の継続は難しい旨は幾度となくもう伝えさせてはいただいております。温度差というのは、市のほうは継続は難しいんじゃないかということの思いを伝えさせていただいておりますが、事業者のほうはそこで何とか続けられないかという、この部分のずれはあったのかなと考えております。

○議長（山本 剛） 橋議員。

○7番（橋 俊明議員） 交渉事ですので、大変だと思います。それに市長の公約等も絡んできますので、やっぱり業者とのいろんなメンツもございますし、大変だと思いますけども、よろしくお願ひしたいと思ひます。

先ほどちょっと第1問の中で、顧問弁護士等に相談しながら進めていきたいというお話がございました。場合によっては期間を要するということも想定されますので、そこで再質といたしまして、野洲駅南口周辺整備構想改訂支援業務委託にも影響が出ることも想定されますけども、そのときの対応を伺います。

○議長（山本 剛） 小池政策監。

○政策調整部政策監（小池秀明） 今回の業務委託に関しまして、あくまでもAブロックからEブロック、一体的な構想の見直しでございますので、特に影響は出ないかと考えております。

○議長（山本 剛） 橋議員。

○7番（橋 俊明議員） ただ、私もいろいろ経験しましたけども、裁判がどうしても長引きますので、それはそれで割り切って進めていくほうが賢明かなと思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

先ほど申しましたとおり、これは、やはり市の大きな目玉事業の1つでもございますし、様々なものが絡んできますので、そこら辺は熱意を持って相手との交渉をお願いして、打開されることを頼んで、第1問目を終わっていきます。

次に、件名2番目の通知表廃止につきまして、教育長に伺うものでございます。

去る5月2日の新聞で大きく取り上げられましたのが、岐阜県美濃市が通知表を廃止することに踏み切ったことでもあります。美濃市内の小学校5校が、今春に入学した1年生の通知表を廃止することが分かりました。来年度以降は2年生まで廃止して、通知表は3年生以上とする方針であるということです。美濃市教育委員会によりますと、岐阜県内では初めての取り組みであるとのことでございます。美濃市の島田教育長は「丸の数がクラス

内の序列につながったり、劣等感を抱かせたりすることがないようにする」と通知表廃止の狙いを話されております。これまでは学期末に3段階評価の通知表を配布している。本年度の1年生には年度末に学習や生活の様子を記した総合所見を修了書とともに手渡すとのことで、基本、教科ごとの評価はつけない。そもそも通知表の有無は校長に決定権があります。昨年11月の市総合教育会議で通知表廃止の提案があり、5校の校長が合意したという新聞の報道内容であります。

島田教育長は、「低学年の発達段階を考慮して、通知表がないほうが子どもが伸び伸びと自信を持って成長することにつながると考えた」と述べられております。

なお、通知表につきましては、長野県伊那市立伊那小学校が1956年度から廃止、神奈川県茅ヶ崎市の香川小学校も2020年度から通知表なしにしておられます。

問1でございます。

そこで教育長に通知表廃止についてどのようなお考えかを伺います。

○議長（山本 剛） 教育長。

○教育長（北脇泰久） 皆さん、おはようございます。

では、橋議員からのご質問にお答えをさせていただきます。

議員のおっしゃるとおり、通知表は児童や保護者にとって重要な存在です。本市では、通知表を単なる評価の通知と捉えるのではなく、児童の学習状況を客観的に把握し、今後どのような力を伸ばすべきかの目標設定につなげるためのものと考えるとともに、児童の努力を認め、励ますことで学習への意欲向上を促す役割も果たしていると考えています。そのため、各学校では、児童の今後のよりよい学びの姿を目指し、個別懇談会などで通知表を活用し、教員、保護者が話し合う機会を設けています。これにより、児童が自分の学びを深く理解し、次への目標を設定し、学習意欲の向上を促すよう努めています。これらことから通知表を廃止するということは現時点では考えておりません。

以上、お答えとさせていただきます。

○議長（山本 剛） 橋議員。

○7番（橋 俊明議員） ありがとうございました。

通知表廃止を今のところ考えていないということでございました。まさしく、全国の事例が物語っているように、非常にまれなケースでございますので、やはり教育の様々な面が取り巻いておりますので、影響が多いだけに、廃止、存続は慎重に議論すべきと私も考えているところでございます。今も申し上げました、教育委員会や教育を取り巻く状況は

非常に複雑で、様々な面がございます。特にマスコミが、やはりいろんなもので目に飛びつく、昨今にしますと、この頃話題になったのが給食問題。福岡でしたか、給食の献立に空揚げが1個であったということで、これが番組で様々な面に取り上げておられます。また、先般、東京都で発生しました。学校に、保護者の友達関係でございましたかね、入り込んで来て、少し暴力を振るわれたという経過がございましたので、それもマスコミに大きく取り上げられました。

やはり、いろいろな複雑な面が絡んでくると思いますので、教育長、いつも答弁を感心して聞いております。何が言うたら、すきっとしますので。どっちかという、私は中途半端な質問していますけども。すきっと答弁される、これが恐らく、生徒なり、学生さんなり、保護者には好印象を与えるのではないかなと思っておりますけども。

そこで再質でございますけども、教育長が現役の教師時代に、生徒に対して伸び伸びと育てるコツといますか、伸び伸びと育てるノウハウをどうしておられるのか伺います。

○議長（山本 剛） 教育長。

○教育長（北脇泰久） 今の議員からご質問いただきまして、私の教員生活38年でありませうけれども、少し思い出しながらお話をさせていただこうというふうに思います。実のところ、私は38年はやっていたんですが、実際に学級担任というのは9回しかやっていません。36歳の学級担任がもう最後になりまして、そこからは、校長のほうから、これをやりなさいというふうなことがありましたので、その仕事をさせていただいていたというふうなこともあります。

ただ、今から思いますと、9回というような少ない中で、じゃ、自分が何をメインにしながら教師生活を送ったのかと言われてみると、私当時、1年生やったら一直線と書いて真っすぐ、2年生やったら、不屈と書いてとことん、3年生は真剣と書いて本気という学級通信を出していました。年によったら毎日出していたということもあるんですが、私が一番大事にしたのは、実は生活の中における毎日の語りです。先生からの話です。このことにおいて、子どもたちにとったら、例えばこんなことがありましたとか、あんなことで悩んでいますとかというふうなものをできるだけその学級の中で出せるような雰囲気をつくる、このことに一番専念していたかなというふうにして思っています。

ですので、そういうことがひょっとすると、子どもたちにとって伸び伸び生活ができるというふうなことになっていたのかなと。また、学級通信を家に持って帰って、おうちの方といろいろと話をしてくれる、そういう中で保護者の方もいろんな話をしていただける、

そういったことが日々の毎日の子どもたちの生活にとっては、しっかりと学校生活が過ごせているというふうな印象は強かったかなというふうに思います。

むしろ最初の教師のときを考えると、伸び伸びというのは、私自身が伸び伸びやっていたかなというふうな思いがあります。それだけ当時の校長は私に伸び伸びとさせてくれていたなというふうに思っていますので、昨日、少し答弁の中でもお話しさせていただきましたが、やはり校長のリーダーシップというのは、それぞれの先生方のやる気を引き出すとかやる気にさせることだというふうに思っていますので、まさにそういったところを当時の校長先生はやっていただいたのかなというふうにして思っています。

今も大事にしている心情としては、3つございます。1つは真摯に、2つ目には謙虚に、そして3つ目には愚直にということです。このことを受けて、今、教育長という職には立っているわけですが、これを大事にしながら、これからも仕事に邁進していきたいなと。何かがあったら、最後責任は私が取るというふうな覚悟でもってやらせていただいております。

以上でございます。

○議長（山本 剛） 橋議員。

○7番（橋 俊明議員） 大変ありがとうございます。先ほど言いました、教育長の性格がきちっと反映されていて、恐らく、若いときに伸び伸びとやるように心がけた、恐らく生徒にはそれが伝わったというふうに判断をいたします。私も38年の公務員時代、実は教育委員会と福祉には行ったことがない。ほとんど土木方面と企画方面だけでございました。今から思うと、やはり様々なところを経験しておくべきだなということは痛感をしているところでございますが、これだけはやはりそういった思いがなかなか通じないところがございますので。辞令1枚で動く身でございますので、それは何ともいたし方ないと思うんですけども。

そこで、もう一つ再々質でございますけども。再々質問。今おっしゃられました。その考え方が教育長になって変わってきましたか。それをちょっと伺いたいと思います。

○議長（山本 剛） 教育長。

○教育長（北脇泰久） 教育長にというか、自分の教員人生の後半になってくると思いますが、当初は自分が子どもたちに教えるということ、これが教育だという認識を持っていましたが、後半の部分にかけては、どちらかという、やはり子どもと一緒に学ぶという姿勢、それから子どもたちからいろいろと学ぶというふうなところに、自分自身としては

変わってきたのかなというふうな思いが大きくあります。これも、やはりその時々の子どもたちとか、あるいは先生によっていろんな影響を受けたその結果かなというふうに思っていますが、先ほども申しましたように、そういったものを今現在においても大事にしながら、特にこの前も答弁でもさせていただきましたが、不易流行とか、あるいは生きる力を問い続けるとかというふうなことを本当に愚直にやっていきたいなというふうにして思っています。

以上でございます。

○議長（山本 剛） 橋議員。

○7番（橋 俊明議員） ありがとうございます。

今後、やっぱり愚直に、真っすぐに、教育長の性格を反映した進め方をお願いしたいと思います。それが恐らく教育会全体に影響していくと思いますので、よろしく願いをしておきます。

それでは、3問目、大篠原鷺坪地先の都市計画区域区分の変更についてお尋ねいたします。

ちょうど8年前に、私が議員に初当選したときに、いわゆる質問した項目が3項目ございました。1問目は、篠原周辺の開発という形で質問をさせていただきました。2番目が国道8号バイパスの北伸について、そして3番目がこの鷺坪の市街化区域の設定という形で質問させていただきました。

当時、私は篠原駅周辺が一番早い可能性があるだろうなということを想定しておりましたけども、ちょっといろんな関係で遅れてしまいました。国道8号バイパスの北伸並びに今回の鷺坪の都市計画区域変更。やはり質問してすぐにこれだけの大きい事業はなかなか動かない。結局、8年かかってようやく、先が、ゴールが見えてきたとはいきませんが、先が見えてきたというところまで来ました。やはり、1年、2年では大きい事業は進まないということを今さら痛感しているところでございます。

それでは、質問に入っていきます。

大津湖南都市計画区域区分の変更（滋賀県決定）に係る野洲市原案につきましては、令和7年2月12日の野洲市都市計画審議会におきまして、諮問され、原案に同意されたところであります。この区域区分の変更は、滋賀県決定であることから、県の都市計画審議会において審議され、決定されるものであります。富波乙地先の変更予定地域と同様、農業振興区域、通称青地でございますけども、以前は青地の都市計画区域区分の変更、つ

まり市街化区域への編入は農政局、県農政所管課の農地を守るという強い信念のもと、大きな高いハードルとなっておりました。毎年夏に開催されております自民党の政調会議におきまして、鷺坪地先の区域区分の変更に関しまして、政調会に要望し、議論を重ねてまいりました。議論を重ねるといっても、青地というものの、耕作をされないままで、荒廃地と化していた農地を、まずは当時は白地に変更することをお願いし続けました。この白地への変更が当時は区域区分の変更の最も早い手続であったからであります。現在は地域計画によりまして、十分精査をしているということで道が開けたものでございます。

当時は、展望が開けない状況下におきまして、見通しが暗い中、今回区域区分の変更に至ったことに対しまして、関係機関に感謝を申し上げさせていただきたいと思っております。

ここで、今回の区域区分の見通しが立ったことから、荒れ地でイノシシのすみかと化していた土地が、土地を所有している業者が、未買収地の地権者の了解を得て、雑草の除去をしていただき、大きく変貌を成し遂げたという形で、これをスライドをもって見せて、説明する予定でございましたが、ちょっとスライドの調子がおかしいといひますか。皆さんのお手元のほうには、出ていると思ひますけれども、業者が地権者の了解を得て、草刈りをしていただきました。大分、イメージが変わりました。ただ、雑草が繁茂するのは、これからちょうど梅雨の時期、やはりすぐ伸びてしまひますけれども、大きくイメージが変わりましたので、ここも期待をしていきたいと思ひておひます。

そこで、問1に移ります。

県の都市計画審議会の開催はいつ頃になるのか、伺ひます。

○議長（山本 剛） 布施都市建設部長。

○都市建設部長（布施篤志） 議員の皆さん、おはようございます。

それでは、橋議員のご質問の大問の3点目の1つ目のご質問でございます。

今回、橋議員のご質問のとおり、現在滋賀県におきまして、大津湖南都市計画区域の区域区分の一斉随時見直しという手続が進められているところでございます。その手続でありますけれども、最終段階の手続の1つという形で、滋賀県都市計画審議会が開催をされるということでございますが、その開催時期につきましては、現段階では公表されておひません。

なお、当該区域区分の変更につきましては、滋賀県において、令和7年度中の変更告示を目途に進めていただひておひということもお聞きさせていただひておひますので、そういったスケジュールの中で開催をされるものという認識でございます。

以上、お答えとさせていただきます。

○議長（山本 剛） 橋議員。

○7番（橋 俊明議員） 県の都市計画審議会は今のところまだ公表になっていないということで、恐らく、恐らくというよりも、平成7年度中に開催をされて手続が進んでいくものというふうに答弁をいただきました。恐らく7年度中になるものということで、私の1つの目標が達成されましたので、それを温かく見守っていきたいなと思っております。

次に、県の都市計画審議会におきまして、近畿農政局、県の農政所管課の対応はどのように想定されているのか、伺います。

○議長（山本 剛） 布施都市建設部長。

○都市建設部長（布施篤志） 2点目の橋議員のご質問についてお答えをさせていただきます。

滋賀県の都市計画審議会に諮る段階におきましては、県の農政所管課の調整はもとより、国との事前協議も終えられているというふうな状況でございます。そのため、現在は県の土木交通部の都市計画課を通じまして、県や国の農政部局等との調整を整えているところでございまして、こうした事前の積み上げられた協議内容を踏まえて、着実な対応をされるものというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（山本 剛） 橋議員。

○7番（橋 俊明議員） ありがとうございます。

今の答弁では、近畿農政局並びに県の農政所管課は手続は終えられているということで、これから粛々と進められるだろうということで期待をいたしております。鷺坪もね、都市計画区域のあの変更の中で、光善寺川、稻荷川、国道8号線、県道、安養寺入町線、あと1つ、白地が若干残っているところ、いわゆる旧の河川敷地が若干残っておりますので。あと、これがいわゆる今後開発区域の中で、きちっと残地が残らないように、手続をお願いしておきたいと思っております。せっかく地元の念願でございますので、よろしく願いをしておきます。

再質はもうございません。ゆっくりしてください。

それでは、私の質問を終わります。ありがとうございました。

（「平成7年ではなくて、令和7年ということですね」の声あり）

○7番（橋 俊明議員） そうですね。後ろから指摘がございまして、平成7年と申しま

したが、令和7年でございました。ちょっと上がっておりましたので。訂正させていただきます。よろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございました。

○議長（山本 剛） 次に、通告第15号、第8番、石川恵美議員。

○8番（石川恵美議員） 第8番、創政会、石川恵美でございます。

最後の最後ということで、緊張しております。全力で質問をさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

まずは1件目、希望が丘線の整備構想とまちづくりについて質問をさせていただきます。一般的に、公園とは地域住民の生活に密着し、緑地環境を提供するために整備されております。滋賀県希望が丘文化公園は、野洲市を中心として、竜王町、湖南市の3市町にまたがり、広大な敷地に1969年に起工し、1974年に完工されました。優れた自然環境を保護し活用することで、県民が健やかで活力ある生活を送れるように憩いの場を提供しております。

まずは県立近江富士花緑公園について少し質問をさせていただきます。念のため申し添えますが、県の管轄ということは重々把握しております。このたび、野洲市にある県立近江富士花緑公園がリニューアルし、人と森をつなぐ協定として、新しく県とローム株式会社が公園を整備され、大型遊具等の設置や芝生公園の造成等、とても魅力的な公園に生まれ変わりました。公園は今までにない盛況ぶりで、野洲市にとっては、これからの展望を推測すると感謝の気持ちでいっぱいになります。しかし、急激に来園者が増えたことで課題も出てまいりました。4月5日土曜日に花緑公園内で民間主催のイベントに野洲の魅力を語ってほしいと依頼を受け、開会式に参加させていただきました。これからもこういった依頼をいただいたら、どんどん受けて、野洲市を訪れる方を少しでも増やしていきたいと思っております。

それでは、質問させていただきます。

問1、希望が丘公園全体では駐車場は1,761台駐車が可能です。SNSなどで検索してみると、天気や祝日情報を基に、混雑予測を表示して工夫はされていますが、利用者の声などを確認すると、駐車場に関する苦情が目立ちます。また、花緑公園に直接つながる駐車場は多目的駐車場1台を含む25台ほどしかなく、週末にもなると、入り口付近の道路は大渋滞が起きております。花緑公園の駐車場は無料なので、いつ駐車できるかわからない状態で、少し離れた場所にもコンクリートで整備されていない小さい駐車場はありますが、やはり週末や桜の時期はそこも大渋滞が発生しております。来園者は、子ども連

れの家族や高齢者の方々も多く、諦めて帰る車も何台も見かけました。これは先ほども申しましたとおり、県の管轄なので県が対策すべき課題ではありますが、野洲市にありながら、野洲市民も安心して気軽に遊びに行けるよう、野洲市としての対応策も必要であると考えますが、市長の見解をお聞かせください。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） それでは、石川議員の希望が丘線の整備構想とまちづくりについてのご質問についてお答えいたします。

まず1点目、渋滞への野洲市としての対応策はということでございます。議員がおっしゃいましたとおり、県の所管施設において起因することでございますので、市では対応策は考えておりません。しかし、市民も施設や県道を利用されますので、県に対策を講じるよう要望していきたいと考えております。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 問2、県と協議はしていますか。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） 2点目、県と協議しているかということにつきましても、あくまで県の施設ですので、これまでから県との協議はしておりません。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 再質問をさせていただきます。

山崎有子議員の質問にもありましたが、市長は県には太いパイプがあるとさんざん言われてこられたので、野洲市民のために何か緩和ができるようなアイデアなど、提案されたことはないのでしょうか。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） 再質問にお答えします。

県に提案したことがあるかないかということでございますが、現在提案したことはございません。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 再々質問をさせていただきます。

では、県には太いパイプがあるとおっしゃっていたのは、具体的にどういう意味だったのでしょうか。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） パイプがあるから何でもかんでも県に要望するということではございません。物事にも事と場合がありまして、しかるべき内容をしかるべき形でしかるべきタイミングでしっかりと県のほうとも協議をするというところになるうかと思っております。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） そうでしたか。公約で聞いているときにはすごい心強いなど、市民の皆様も結構思われたと思うので、使いましょうと思います。

問3に行きます。

近隣には三上学区、北桜自治会があり、例えば協力いただき、野洲市としても、駐車場整備の検討等を協議できないのでしょうか。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） それでは、3点目のご質問についてお答えをさせていただきます。

野洲市として駐車場整備の検討のご提案でございます。県立近江富士花緑公園に駐車できない場合、これは希望が丘文化公園にも駐車場がございますので、そちらを利用していただくことで、一定渋滞のほうの解消はされるというふうに考えておりまして、市としての駐車場整備は考えてはおりません。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 問4に行かせていただきます。

教育部長にお伺いします。4月7日に市長に面談させていただいたときに、希望が丘文化公園の全体の利用者は年間30万人と市長がおっしゃっていましたが、それに対して野洲市が保有する歴史民俗博物館、いわゆる銅鐸博物館は来館者が少なく、弥生の森に至っては、竪穴式住居が朽ち果て、憩う場所ではなくなっております。来館者が少ないゆえに、予算づけも手薄になってしまっているように推測いたしますが、年間の来館者数はどのくらいでしょうか。

○議長（山本 剛） 田中教育部長。

○教育部長（田中明美） 4点目のご質問にお答えいたします。

野洲市歴史民俗博物館の年間来館者数は、令和元年度以前は年間1万人を超えておりましたが、令和2年度新型コロナウイルス感染症の拡大により一時4,591人にまで落ち込んでおります。その後徐々に回復いたしまして、昨年度、令和6年度は年間8,136人の来館者数となっております。

以上、お答えとさせていただきます。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 再質問をさせていただきます。

市長、この来館者数についてどう思われますか。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） お答えいたします。

確かにコロナ禍前後で比べまして、回復していないということでございまして、それに関して申し上げますと、少なくともコロナ禍前の状態にはそれだけのポテンシャルがあるわけですから、戻さなければならないのではないかなど。せっかく市民の皆様からお預かりした税金で運用しておりますので、ここをしっかりと活用することがまずは先決かなど、このような印象を抱いております。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 問5、私は希望が丘文化公園の利用者数にあやかって抜本的な改革を行うべきだと考えます。例えば、野洲市は宿泊施設が少ないので、歴史と組み合わせ、竪穴式住居でキャンプ体験や、今、はやりのグランピング施設にして、野洲市の魅力を伝えながら、低迷している場所を活発化させる、もしくは銅鐸博物館に道の駅をつくり、維持発展させ、地域の経済や社会、文化を活性化させ、地産地消、また野洲にある歴史文化を広めて、定住人口の増加を見込むことがまちづくり、まち育てにつながると考えますが、市長の見解はいかがでしょう。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） それでは、石川議員の希望が丘文化公園の利用者数等にあやかっただけのまちづくりについてのご質問、ご提案についてお答えをさせていただきます。

ただ、この歴史民俗博物館につきましては、教育委員会の所管でございますので、そこからの聞き取り等を基に答弁させていただきたいと、このように考えております。

まず、これまでから銅鐸博物館では季節ごとに企画展や、また夏休みにはドウタクくんも活用しながら、子ども向けの催し等、体験学習に取り組み、広く市の歴史文化に親しむを持ってもらう機会の提供や歴史遺産の保存、継承に取り組んでいるところでございます。しかしながら、コロナ禍以前と比べますと、来館者数は回復傾向ではあるものの、落ち込んでいるところがあることは認識をしております。

議員からご提案いただいておりますグランピング施設や道の駅は、こういったものは人

を銅鐸博物館施設に呼び込む手法として、1つのアイデアであると考えております。今般、花緑公園や希望が丘文化公園がリニューアルされ、周辺施設の利用者が増加しているこの機会を捉えまして、教育委員会では観光の視点を取り入れた活用のあり方について検討しているというふうに聞いております。弥生の森歴史公園につきましては、博物館という枠に捉われない斬新な発想で、この施設を活性化し、エリアとしてにぎわいが創出できればと考えております。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） ぜひ前向きにやっていきたいと思います。私の聞いた話では、大分昔にはあの竪穴式住居は子どもたちが泊まる体験とかはあったというふうに聞いていますので、ぜひ今の子どもにも体験をさせてあげたいなというふうに思います。

問6に行きます。

交通手段としては、混雑が予想されるときには、有料のコミバスを野洲駅などからピストン輸送して、運賃格差を設けて、市民サービスと市外の方からは適正な受益者負担をいただくことも必要だと思いますが、見解はいかがでしょうか。市民部長でいいのでしょうか。よろしくをお願いします。

○議長（山本 剛） 布施都市建設部長。

○都市建設部長（布施篤志） それでは、石川議員のご質問について、都市建設部のほうからでございます。お答えをさせていただきます。

県立であります近江富士の花緑公園でございますけれども、主に土曜日、日曜日が来園者が非常に集中するものということで聞いておりますし、確認もさせていただいております。この土曜日、日曜日におきましては、現在、近江鉄道バスの花緑公園線が野洲駅から花緑公園までを運行されております他、希望が丘西ゲートでの停車便が増便されて運行いただいているというところでございます。このために、近江富士花緑公園に来園されませぬ皆様、お客様につきましては、この公共交通の利用促進のためにも路線バスをご利用いただきたいというふうに考えております。

以上、お答えとさせていただきます。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 再質問をさせていただくんですが、通告になかったので、分かる範囲でお願いをいたします。花緑公園線とか近江バスが走っているとおっしゃいましたが、路線バスなら停留所で止まると思うんですが、博物館前は止まるんでしょうか。

○議長（山本 剛） 布施都市建設部長。

○都市建設部長（布施篤志） 花緑公園線につきましてですけれども、野洲駅の南口から出発をしていただいております、市役所の前を通過いたしまして、辻町、そして銅鐸博物館前も停車をしていただく便がございます。また、それぞれ、曜日によりまして、停車をする曜日が違いますので、今申し上げました土曜日、日曜日の花緑公園線の便につきましては、銅鐸博物館前は停車しないというような便がございます。また、それ以外のところにつきましても、花緑公園を終着としない便につきましては、博物館前を停車するという便がございますので、その点もご留意いただきたいというふうに思います。

以上、お答えとさせていただきます。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） ぜひ博物館、止まるところにここにちょっと降りてくださいよみたいな、あんまり何もありませんね、看板1枚しか。ぜひ降りていただくような何か案を考えていただきたいなと思います。

これからの野洲市はまだまだ伸び代があると思います。分かりやすく言うと、これからさらに向上、発展する余地があると思います。そのためにも財政の問題はありますが、野洲市の歴史を次世代に語り継ぐ1つの方法として、銅鐸博物館、弥生の森をいつまでもほったらかしにするのは、私はもったいないと思いますので、どうか早めにいろいろと考えていていただきたいと思います。

では、2件目に入ります。

野洲市には自治会は92自治会あり、自治会長は地域の自治組織のリーダーとして市民と行政との協働のまちづくりを進める役割を担っていただいております。さらに市政の充実、発展に多大にご尽力いただいております。また、自治会内の課題についても、解決に向けて全力で頑張ってくださいっております。自治会内にある公園は、子どもたちの遊び場や憩いの場、安らぎの場として存在し、災害時には一時避難場所としての活用をするためにも存在しておりますが、整備や管理の面で、自治会の課題の1つとして、公園問題がよく挙げられます。今回は公園のこれからのあり方について質問をいたします。

都市建設部長にお伺いします。市街化区域拡大の計画、防災機能の強化を図るために、令和4年1月1日から対象になる地域に対して都市計画税が導入されましたが、この92自治会のうち、都市計画税によって改善された公園はどのぐらいありますかでしょうか。

○議長（山本 剛） 布施都市建設部長。

○都市建設部長（布施篤志） それでは、石川議員の2点目の1つ目の項目でございます。

都市計画税によって改善された公園の数はということでございますが、まず都市計画税を導入いたしました令和4年度以降でございますけれども、令和6年度までに機能強化等の整備のために充当した都市公園はございません。また、令和6年度におきましては、都市公園の遊具の更新等を目的とした実施設計業務、こちらのほうには充当をさせていただいたという経過でございます。

以上、お答えとさせていただきます。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 再質問をさせていただきます。

今、お話の中で都市公園はゼロとおっしゃいましたが、都市計画の対象にならなかった公園について野洲市はどのような方向性を持っているのでしょうか。

○議長（山本 剛） 布施都市建設部長。

○都市建設部長（布施篤志） まず、公園の性質と申しますか、性格の違いで整理をさせていただく必要があるかと思うんですけれども、今、いくつかの種類があるんですけれども、まず都市政策課のほうで管理をしておりますのが、都市公園と地域ふれあい公園でございます。先ほどご答弁申し上げました、都市計画税を充当できるという公園につきましては、都市計画公園、都市公園のみでございます。それ以外の地域ふれあい公園につきましては、後のご答弁も関係してまいりますけれども、各自治会のほうに交付金もしくは補助金という形で、その運営経費等に充当いただいているというような状況でございます。

以上、お答えとさせていただきます。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 問2に行かせていただきます。

市は自治会に公園管理の交付金や助成金等を支払っていると今おっしゃいましたが、金額は教えていただけますでしょうか。

○議長（山本 剛） 布施都市建設部長。

○都市建設部長（布施篤志） 2点目のご質問についてお答えをさせていただきます。

公園に関する助成金につきましては、野洲市自治会活動交付金といたしまして、交付要綱に基づき、公園面積に応じて交付をさせていただいております。令和6年度の実績では369万6,000円を交付させていただいております。また、野洲市自治会活動活性化補助金におきましては、当該交付要綱に基づく公園関係のものとして、自治会に

において実施をされました剪定等の維持管理や物置、ベンチ等の施設整備に関する補助金という形で、令和6年度の実績では49万3,000円を交付させていただいたというものでございます。

以上、お答えとさせていただきます。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 問3に行かせていただきます。

先ほども言いましたが、自治会内の公園は子どもたちの遊び場、憩いの場、安らぎの場として存在し、地域住民の安全や快適性を高める場所、またイベントなどを通して、地域コミュニティの活性化に貢献し、公園の利用を促すことで、住民間の交流を深める効果が期待できるのが自治会内の公園だと思っております。しかし、昨今の現状は少子化の影響もあり、子どもたちの遊んでいる姿をあまり見かけなくなり、閑散としております。雑草だけが元気に茂り、年に2回の一斉清掃だけでは管理できず、各自治会が独自に維持管理をしています。私の自治会も例外ではなく、もっと地域コミュニティを高める場所として何かできないか思案中でございます。これからは高齢化社会を見据え、子どもはもちろんのこと、高齢者をターゲットにした公園が学区に最低1つぐらいはあってもよいと思いますが、ご見解をお聞かせください。

○議長（山本 剛） 布施都市建設部長。

○都市建設部長（布施篤志） まず、石川議員、先ほどご質問いただきましたように、公園の種別といたしますか、公園には子どもの遊び場以外にもいろんな用途といたしますか、災害対策でありますとか、環境の保全面、さらには地域の交流の場といったような多機能の面がございます。こうした中で、令和3年の7月に策定いたしました本市のみどりの基本計画という計画がございますが、その計画に基づきまして、都市政策課が所管をいたします、都市公園と地域ふれあい公園を対象といたしました公園再編計画を令和5年3月に策定してございます。この計画策定におきましては、今後の公園のあり方について、各自治会のほうにアンケート調査を実施しており、地域の高齢化や子どもの減少に伴う公園の利用者の減少、除草等の公園の維持管理が負担となっているといったご意見も伺ったところでございます。

そうしたことから自治会と協議した上で、各公園につきまして、現状維持をしていくのか、または機能分担をしていくのか、機能移転や廃止を含めた統廃合をしていくのかというような分類をしてございます。特に今後の機能分担におきましては、公園機能の役割を

見直す中で、地域の実情や世代に応じた公園となりますように、具体的に取り組んでいく必要があるというふうに考えているところでございます。

以上、お答えとさせていただきます。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 市長にお伺いします。私の提案を具体的に言うと、自治会員はもちろんのこと、健康増進のためにウォーキングをされている方などが休憩に立ち寄りたくなるような公園、昨年に一般質問をさせていただきました熱中症対策であずまやを利用した自然クールスポット、健康遊具の設置、高齢者の生きがいつくりの一環として、ステージ設置や趣味共有の場所づくりなど、アイデアはたくさんありますが、自治会単位で使える資金が課題となっています。自治会活性化補助金は公園整備の遊具等には活用できませんが、金銭的には全然足りないと思います。自治会内管理の公園には都市計画の対象にもならず、具現化するにはどうしたらよいのでしょうか。

○議長（山本 剛） 布施都市建設部長。

○都市建設部長（布施篤志） まず、私のほうからお答えをさせていただく面がございます。本市におきましては、令和6年3月に策定いたしました公園長寿命化計画に基づきまして、都市公園施設の老朽化に対する安全対策の強化と将来の改築更新に係りますコストの削減、縮減や平準化を図るために優先して更新や改修事業を実施してございます。これら都市公園につきましては、国の交付金であります長寿命化と安心安全な公園整備の事業採択を受け、事業を実施しているものでございます。

一方で、議員ご指摘のとおり、市内のほとんどの公園は地域ふれあい公園でございます。これらの公園施設の維持管理の課題等も認識をしているものの、現状におきましては、野洲市自治会活動活性化補助金を活用いただき、取り組みをお願いするとともに、地域内においてさらなる再編が必要な公園につきましても、公園機能の役割を見直す中で、地域の実情や世代に応じた公園となりますよう、その方策について検討を進めてまいりたいというふうに考えております。

以上、お答えとさせていただきます。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） ただいま都市建設部長が答えましたのが市の考え方でありまして、ルールであります。もう少し一般的といいますか、私の思いという部分でお伝えしようというふうに思います。現状としまして、この市内の市民の、私が知る限りでの公園に対す

る思いというものにつきましては、ニーズとしては、どちらかという、高齢者の方よりも若い世代の子育て世代の方が遊ばせる場所が欲しい、こういった声が多く、私の耳には入っております。ただ、一方で高齢者の方だけではないんでしょうけども、今、石川議員が提案いただいているような施設が欲しいという声というものは、私は現状あまり聞いておりませんので、そのあたりのニーズもしっかりと踏まえて、市の優先順位、政策の優先順位として、どうしていくのかということは考えていく必要があるかなというふうに思っておりますので、そのニーズなりを、例えば石川議員のほうでもう少し調査をいただいて、それが市内全域での声なのか、またその公園というものが自治会単位に欲しいというものなのか、その辺の意見の集約でありますとか、分析というものをお聞かせいただければ、こちらとしても市民のニーズとしてしっかりと受け止めたいなど、このように考えております。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 最近、自治会内でカフェを始めたんですね、高齢者の方に無料で来ていただいて。そういうところで意見をいただくと、そういう意見が物すごく多い。それと少子化になってきて、今、幼稚園とかでも、本当に人数がいらない中で、これから先、もっと子どもがいなくなる中で、公園のあり方というのを考えたいと思うので、今回質問をさせていただきました。問5に行かさせていただきます。

駅前芝生公園ばかりこだわっておられますが、まずは幅広い年齢層の野洲市民のために、自治会内公園整備も大切だと思います。市長の見解は今お聞きいたしましたので、また調査をさせていただきますが、どういったところで話を聞きに行く範囲を教えてくださいませんか。例えば今、老人会あります。老人会だけに聞くのではなくて、幅広い年齢層になってくると、どういうところで聞くのが一番有効的か、教えてくださいませんか。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） これは5問目の質問でよろしいですか。

○8番（石川恵美議員） そうです。はい。

○市長（櫻本直樹） よろしいですか。ちょっと質問が通告と違うので、お答えを持ち合わせていないんですが、そもそもこの提案いただいたのが石川議員ですので、石川議員のほうでしかるべき対応、議員活動の一環としてしていただければどうかなというふうに思っておりますが、老人会とかに限らず、様々なところに石川議員も顔を出されていると思っておりますので、そういった中で調査をされてはどうかと、このように考えておりま

す。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） おかげさまであちこちに顔は出させていただいておりますので、情報収集を頑張らせていただきたいと思います。

少し話はそれますが、自治会内公園管理も草刈り機などの道具の維持管理も大変なんです。例えば、値段が高い広範囲可能な草刈り機など、市で保有して貸し出しとかしていただけるとありがたいと思います。

それでは、3件目、駅前構想の進捗状況と課題について質問をさせていただきます。

質問が重なるところもありますが、確認の意味も込めて、再度お伺いをいたします。それと、質疑の流れを考えて、最初に通告書の問2と問3を質問させていただき、最後に問1を質問させていただきますので、ご了解、お願いをいたします。

それでは、まず問2を質問させていただきます。

都市基盤整備特別委員会の開催が6月5日とあって、一般質問を検討したくても、一般質問通告書締切日が前日の4日とあって間に合わない状況でした。櫻本市長はそもそもこの駅前の課題を議会と丁寧に公式に議論することは必要がないとお考えなんではないでしょうか、教えてください。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） それでは、3問目の質問についてお答えをさせていただきたいと思います。

そのうちの1つ目の質問でございます。これ、議員に丁寧に説明することは必要なかったのかという認識かということでございます。

まず、先日の都市基盤整備特別委員会につきましては、5月29日に連携事業者様に面会した結果を議員の皆様にはいち早く迅速にご報告させていただくことを目的として、開催をさせていただいたものであります。日程は訪問以降で調整していただき、最短で6月5日となったものであります。ただ一方で、一般質問の通告締切り後となってしまいましたことから、この案件につきましては、修正も可能というような対応をしていただいたということでございます。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） それでは、再質問します。

今回の6月議会では、野洲駅南口の問題が話題の中心で、私は多くの議員が一般質問す

ることも容易に想定できたと思います。実際、私を含めて4人の議員が6月4日に通告書を出しました。関心は高かったと思います。今、市長が修正も可能にしたとおっしゃいましたが、あの内容を通告前に説明してもらっていたら、もっと他にも質問したい議員がいたかもわからないですよ。櫻本市長は、今回の6月議会では、特に一般質問ではこの駅前問題はほとんど話題にならないと予想されていたのでしょうか。6月議会ですっかり議論をしようとは思わなかったのでしょうか。お答えください。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） お答えいたします。

まず、訂正といいますか、この提出されました一般質問の通告の修正につきましては、私が修正を可能としたものでなくて、議会のほうでご判断いただいたものということで、修正をさせていただきたいと思っております。

それから、南口の整備の問題に関しましては、この議会に限らず、市民の中でも注目されている案件であるということは承知しております。この議会でも恐らく様々なご意見を頂戴できると思っておりますし、またさきの特別委員会でも様々なご意見をいただいております。これに関しましては、できるだけ丁寧に対応していきたいということで、何も変わらず、取り組まさせていただいている次第であります。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 再々質問をいたします。

先日の特別委員会で説明されたことは、サンヨーホームズの会長さんに終了することを言い渡してきましたという結果報告でしたね。私は正直驚いたんです。なぜ野洲市として、過去に市議会が了解して結んだ協定を、なぜ市長がもうやめてきましたと、先に言い渡して、その結果だけを後から議会に報告したのかなって。

小池政策監にお伺いいたします。5月29日にサンヨーホームズの会長さんと会う予定、これはいつ頃に決まったのでしょうか。いつかだけで構いませんので、お答えください。

○議長（山本 剛） 小池政策監。

○政策調整部政策監（小池秀明） 5月29日、訪問する日程につきましては、市長日程と相手方の会長さんの日程を調整させていただいて、決めたものでございますが、正式な日程を今持ち合わせておりませんので、すみません、双方の調整の上決定したということでございます。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○ 8 番（石川恵美議員） それでは、再質問します。

その5月29日にサンヨーホームズさんにお断りしようという方針はいつ決められたのでしょうか。これもいつかだけでいいので、お答えください。

○議長（山本 剛） 小池政策監。

○政策調整部政策監（小池秀明） まず、今回の方針というか、市の思いにつきましては、3月27日に特別委員会を開催いただきまして、そこで一定の方針を議会の皆様にもご説明させていただいて、その委員会の議論も含めまして進めていることをございまして、急に決めたというものではございません。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○ 8 番（石川恵美議員） それならば、事前に議会ともっと相談してから会うことも特に不可能ではなかったということですよ。その関連で市長に再質問しますが、市長は執行権の範囲内だとおっしゃいましたが、市議会も同意して結んだ野洲市としての重要な基本協定の終了を市長が先にサンヨーさんに言い渡して、もうやめてきましたという結果だけを後から議会に報告しようと考えた理由が分からないんです。私は公平な立場で考えるならば、この前の特別委員会で、野洲市議会はサンヨーさんの話を聞くべきだと思いましたが、改めて、話を聞くべきだと思っています。櫻本市長が会長さんに出会って、断ったとき、市議会はまだはっきり説明も受けていませんでしたから。市長、野洲市の方針を決定するのは議会ですよ。特別委員会で市長の執行権の話もありましたが、サンヨーの会長さんが決定機関である市議会がどう思っているかを確認したいと思われるのは当然のことだと思います。念のために申し添えますが、私は駅前の全てに反対をしているわけではなく、早急かつ順調に進めていく上で、絶対に丁寧な対応が大切だと思うからこそ質問をさせていただいております。

そこで質問をします。櫻本市長は市民の声を聞きながら一緒に考えていきたいと口ではおっしゃいながら、議会や市民に対しては事後報告で十分であろうというお考えだったのでしょうか。もしそうだというなら、そう判断した理由も説明いただけますでしょうか。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） お答えいたします。

今回、私が協定の継続が難しいと判断した理由というものはもう今までに何度もご説明しております、私が訴える前提と連携事業者様からのご提案いただく内容が不整合であるということ、これは特別委員会でもお話しさせていただいたのかなというふうに思ってお

ります。ここで、やはりどうしても折り合えないと、昨日政策監も、今日かな、申し上げましたけども、やはり1%でも折り合う可能性があれば、しっかり協議をしていく、そして時間をかけるのも、市民にもご理解いただけるかと思うんですが、そもそもの大前提が合わないというところで、どこかで線を引いて決断をしなければならないということで、私はこのような形で進めざるを得ないと、そのような判断をさせていただいたというところであります。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 私は私の中ですごくしっくりこないところだと思っております。櫻本市長はいつも議会としっかり議論してとか、しっかり意見を聞いてとか、いつも言っておられますが、でも、今回のこれのどこがしっかりなんのでしょうか。私は今回のことで、市長は有言実行は難しいのかなと思いました。

次、問3に行きます。

市長だからお忙しいのは一定理解できますが、今まで市長の予定や都合で市民を代表する議員の一般質問に影響することはなかったと思います。私は駅前の課題を野洲市の将来に係る最重要課題だと認識しておりますが、市長が最重要課題より優先されたものは何だったのでしょうか。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） 私も市の課題は多くございます。最重要課題と言ってもいいものはたくさんありまして、その中の1つが駅前であると考えておりますので、これ以上重要なものはないのかもしれませんが、その上で重要と考えております駅前の整備の構想、これは今回の案件をいち早く議員の皆様にもお伝えをすべきと考えまして、特別委員会の開催をお願いさせていただき、最も早い日程で調整をさせていただいたと認識しております。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 最重要課題より優先されたものが何だったのかなと聞きたかっただけなので、何の予定が入っていたのか、お聞かせ願えますでしょうか。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） 何の予定というのはいつの日のことをおっしゃって、具体的にいつかおっしゃっていただいたら、ちょっと今、手元にはないですけども、お答えできるかと思うんですが、いつの日程の予定をお聞きになっているのか、その日を教えていただきたいと思います。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 5月6日にあったときに、もうちょっと一般質問より前にあったらよかって、今は政策監も最速で開きましたというお話はあったんですが、それよりも市長の予定が優先されたものが一体何だったのかと、ちょっと疑問に思ったので、またお伺いいたします。

別の再質問をさせていただきます。

野洲駅南口のあり方は、市民生活の利便性、都市の機能、税収の確保、そこから福祉や教育の充実にも関係してくる最重要な課題で、市長個人ではなく、市民を大事に思って決めていかなければいけない課題だと私は思っています。市長個人のためではなく、市民のために、市民、まちを第一にと思って決めていかないとはいけません。この私の認識に櫻本市長、異論はありますか。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） 私の提案というものは私個人の提案ではございません。これは市の提案でありますし、私の個人的な満足のためにやっているわけではなく、これこそが野洲市民にとって必要だということを訴えさせていただいて、それを実現すべく今取り組んでいるということでもあります。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 再々質問をさせていただきます。

先日の特別委員会の市長の発言で耳を疑ったことがあったんです。たしか土地は売らない、マンションは建てないという公約の話になったとき、櫻本市長はこれだけは譲れない、これは私の政治生命がかかっている的なことおっしゃいましたよね。これが市長の本音なんだと思いました。確かに市長は政治家です。でも、その前に市役所という行政機関のトップとして公的な責任を果たさなければいけない立場だと思います。この問題だけじゃなくて、私は市長という仕事は市民のために正しいと思われた方向に、たとえ、自分の政治生命を投げ出してでも突き進んでいっていただかないといけない仕事だと思っています。自分の政治生命の温存を第一に考えるのは、まちづくりをしていることにはなりません。櫻本市長にお伺いします。市長は自分の政治生命のためだけに、まちづくりという言葉を使っておられるのでしょうか。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） 正しく理解をしてください。私は市民のために全てをかけて取り組

むということを申し上げているわけでありまして、私個人の利益のために、いろいろ提案しているわけじゃないということは石川議員も知っていただいていると思っていますので、ぜひご理解いただきたいと思っております。私は全て市民のために日々働いております。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 私もそうだと思うから耳を疑ったんですよ。深くは、政治のことになりますので、控えさせていただきますが。

では、最後にいただいた通告書の問1を質問させていただきます。

3月議会から3か月ほどたっておりますが、多くの市民に聞いて決めていきたいという話だったのに、先日のサンヨーホームズさんとの終了に当たって、市長と市民が懇談されたという話は公式に全く承知されていません。非常に残念だなと思います。では、今後はこのどういった方々の意見を聞いて進めていくのかをご回答ください。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） お答えいたします。

どこかのタイミングで一度整理はしなければならないと思っております。これまでの経緯、それからこれからどういう形で駅前の構想を考え、そして形にしていくのか、このあたりの流れというものをどこかで整理をして、議会または市民にもご提示していかなければならないというふうに思っております。

また、今ご質問いただきました今後の市民の声の聞き方でありますけども、これまでも野洲駅南口整備、この問題に関しましては、私の公約の一丁目一番地ということでございまして、様々な会議でありますとかイベント、行事、こういったところでも市民の方からも声もいただいておりますし、私からも、私の目指すまちづくりという中でお話をさせていただいているということでもあります。多くのご意見もいただいております。

また、6月1日にもやすまる広場、ブース出展を担当課とともにさせていただきました。この場でも非常に多くの方から駅前に対する思いをお聞きしたということもございます。大小いろいろ取り組みはございますけども、これまでこういう形でいろんなご意見を聞いていたということもございますし、今後もようやくこの当初予算を認めていただきましたものも活用させていただきながら、ぜひ市民の意見を、いよいよこれから本格的にどういう駅前が望ましいのかということをも市民と一緒に議論をしていきたいというふうに思っております。ぜひ石川議員もご意見をよろしく願います。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） ちょっと今の答弁を聞いて、えっと思ったんですけど、やすまる広場って駅前の計画について市民が市長に言う場だったんですか。多くの市民はそう思っていなかったと思います。それは知らなかった、ほれやったら行って私も言いたかったみたいな意見が出るとは思います、今の答弁からすると、偶然で寄られた方と立ち話をし政策を判断するということになるんでしょうか。お答えください。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） 例えば、やすまる広場でもこんなことしていますよと、分かりやすい事例を挙げさせていただきました。このやすまる広場でいただいたご意見、これが政策を大きく左右するものではありませんが、一方で、あそこに来ていただいている方のご意見というものもしっかりと踏まえて、今後考えていきたいなということで、あそこで例えば多くの意見が、特定の意見があればそれに決める、そんなことはいたしません。いろんな意見をいただきましたので、そういったものを踏まえながら、またそういった意見のやり取りをすることで、今後の進め方のやり方も見えてくると思っております、全てプラスに次のいい議論ができるための材料に使っていきたくと、このように考えております。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 最後に1点だけ再質問をします。

これから進めようとしてされている市民の意見を聞く場で、先ほどの自分の政治生命に反するような意見、例えば市有地を売るべきだとかマンションを考えるべきだという意見も市民から出てくるかもしれません。そのとき市長はどうお答えするおつもりでしょうか。お伺いいたします。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） ありがとうございます。当然いろんな意見が出てくるかと思えます。一方で、私の意見に賛同いただける意見もあれば、そうでない意見もあると思えますし、また思いもよらない意見があると思えます。そういったものを一つひとつ丁寧に扱わせていただいて、この辺も踏まえた上で議論を市民と一緒にやっというふうにして、特にこれを否定するということせず、幅広い意見は聞いていきたいと、このように考えております。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） 私は、市長が市民から出される正直な意見に対して、自分の政治生命を理由に掃き捨てるようなことだけは本当にしてほしくないと思っております。櫻

本市長にお願いなのですが、どうかご自分の政治生命のためではなく、市民、野洲市のことを考えて、これから今後駅前のことだけではなく、市の課題を判断していただきたい。それを申し上げて、今回の私の一般質問を終わります。

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） ご意見ありがとうございます。決して政治生命、私の政治生命のためにやっているわけではないので、あまりそれを言われると市民が誤解しますので、あくまで市民のためにしっかりと議論しますし、南口だけを私は言っているわけでは決してありません。当然、今、いろんな意見をいただいていますので、どうしてもこの意見が、この議論が中心になっておりますけども、野洲市は本当に多くの課題があります。教育ばかり、福祉ばかり、多くの課題がございますので、それも同時にしっかりと進めていきたい。その中の1つが駅前だと思っておりますので、幅広く、様々な課題を丁寧にやっていきたい。そして、市民のために働いていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。

○議長（山本 剛） 石川議員。

○8番（石川恵美議員） これは私の政治生命がかかっているという言葉が耳に残っていたので、お話をさせていただいたんですが、そうでないということによろしいんですね。

（「議長、ちゃんと仕切ってくださいよ」の声あり）

○議長（山本 剛） 市長。

○市長（櫻本直樹） それぐらいの覚悟で市民のために働くということでもありますので、あまりそればかり言いますと、誤解が生じます。市民のために一緒に頑張りましょう。

○8番（石川恵美議員） これで終わります。

○議長（山本 剛） 以上で、通告による一般質問は終結いたします。

本日の日程は、全て終了いたしました。

お諮りいたします。

明18日から26日までの9日間は、各委員会での議案審査のため休会といたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山本 剛） ご異議なしと認めます。よって、明18日から26日までの9日間は、各委員会での議案審査のため、休会することに決しました。

来る6月27日は午後1時から本会議を再開いたします。

本日はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。(午前10時32分 散会)

野洲市議会会議規則第127条の規定により下記に署名する。

令和7年6月17日

野洲市議会議長 山本 剛

署名議員 奥山文市郎

署名議員 田中陽介